

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

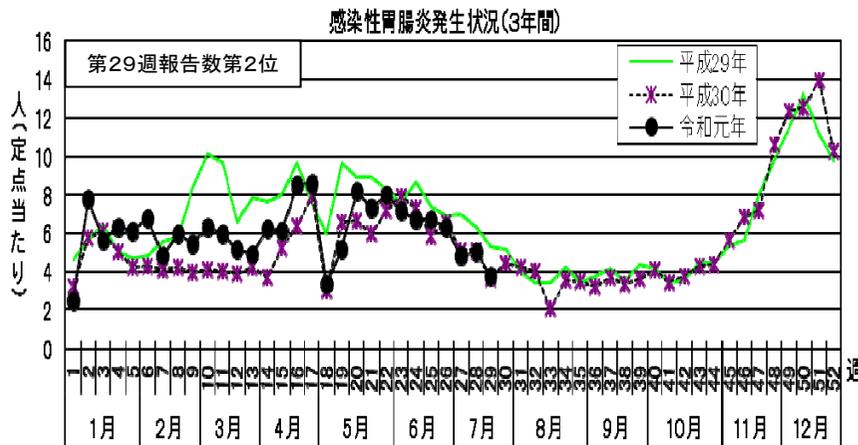
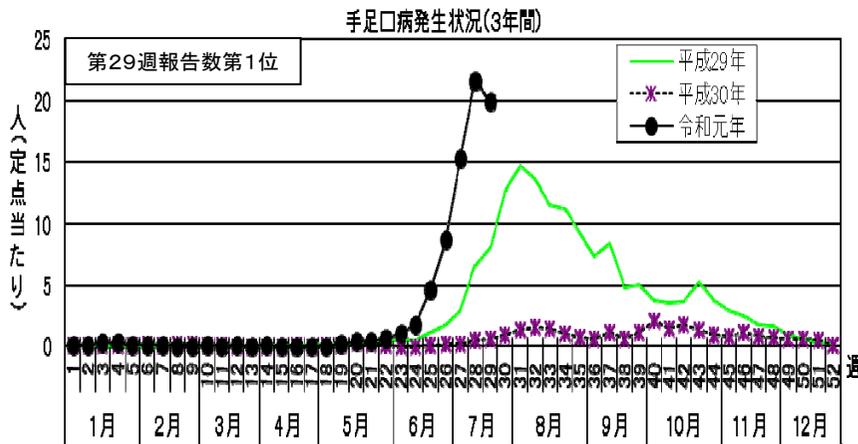
令和元年7月15日（月）～令和元年7月21日（日）〔令和元年第29週〕の感染症発生状況

第29週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)ヘルパンギーナでした。

手足口病の定点当たり患者報告数は19.94人と前週（21.58人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.78人と前週（5.03人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。

ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は3.58人と前週（4.58人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



抗菌薬の正しい使い方を知っていますか？～薬剤耐性（AMR）～

薬剤耐性（AMR）とは、抗菌薬の使用に伴って病原体（細菌）が変化し、特定の種類の抗菌薬が効きにくくなる、または効かなくなることです。

通常、かぜ（感冒）はウイルスが原因であるため抗菌薬は効きません。必要のない抗菌薬の服用は、効果がないだけでなく、副作用を起こしたり薬剤耐性菌の発生にもつながります。抗菌薬の間違った服用により薬剤耐性菌を増やさないためにも、抗菌薬を正しく理解し、適切に使うことが大切です。

《症状別の抗菌薬の使用について》



かぜ(感冒)



のど(急性咽頭炎)



はな(急性鼻副鼻腔炎)



せき(急性気管支炎)

《抗菌薬の正しい使い方について》



薬剤耐性の脅威を知っていますか？

現在、薬剤耐性によって世界では年間70万人が死亡しており、このまま何の対策も講じなければ、2050年には約1000万人が死亡するといわれています。